

ありますから、そこで用いられている言語の数は、同じ言語を用いるものがかさなっているため、せいぜい15以下ということになります。一方で、今や、ロータリアンの数は、120万人を超え、加盟している国と地域は200を超えるといわれていますので、ロータリアンによっては、RIの公式機関雑誌も、公式地域雑誌も読めないという人が多数存在することになります。これを見越して、RI細則では「会員が機関地域雑誌およびクラブ用に定められたRI理事会承認の公式雑誌に用いられている言葉を読めない場合には、RI理事会によってそのクラブに対する本節の規定を免除される。」として雑誌購読義務免除を規定しています。世界中に存在する言語の数は数千、数万以上に昇ることに鑑みてみますと、この規定の存在はロータリアンの多様性、逆に言えば様々な人々をロータリアンに包摂していくというロータリー精神を表したものと言え、高く評価することができます。

### 地域雑誌としての意義

ところで、RIの公式機関雑誌があるのであれば、それを各国の言葉に翻訳し、各地区、各地域に配布すればよいであろうという考え方も、ある面では、正しいものをもっていそうであります。第一、制作費だけでもずい分と安くなる筈であると。

であるのに、何ゆえに「THE ROTARIAN」の日本語版は発行されず、「ロータリーの友」が別に発行され、又、他の地区や他国でも「THE ROTARIAN」の翻訳版が発行されず、その地区、その国々で公式地域雑誌が別に発行されているのでしょうか。公式地域雑誌といっても、そこに用いられている言語は、英語というのかなり数のにぼっています。

こうしたことに疑問をもつということは、実はロータリーとは何かを考える上で、一つのヒントになります。「THE ROTARIAN」は、RIの公式機関雑誌であり、その目的は、RIの目的とロータリーの綱領の推進についてRI理事会を助ける仲介役を務めることであると規定されていることは、冒頭に述べました通りであります。従って「THE ROTARIAN」のもっと具体的な目的は、RIの方針とか、RIの会長のテーマとか、ロータリーの綱領を達成するような世界的な規模又は価値をもつニュースをとりあげるとか、RIの抱えている問題とか、そのような一般的というか普遍的というか、いずれにせよ世界の全クラブに発信するにふさわしいニュースなどを取り上げることが期待されています。そこでは、それぞれの地区や国々で起こされたロータリーアクションや、個別の奉仕事業等のニュースを掲載することは必ずしも期待されていません。個別のロータリーアクションや、個別の奉仕事業であってもそれが世界のロータリアンを鼓舞し、ロータリーの綱領の推進に役立つものにまで高められたのなら、そういった記事を掲載することが逆に必要になってくるかも知れません。いずれにいたしましても、「THE ROTARIAN」の編集部に世界各地でなされる個別のロータリーアクションや個別の奉仕事業を取材する能力もありません。

これに対して、地区や国々で発行される公式地域雑誌には、RIの公式機関雑誌とは違う役割を担っています。ロータリーの運動は、草の根運動であるべきだと言う言葉に象徴されていますように、地区や国々のレベルでは、その地域、地域の特殊な問題があり、その地域のロータリアンはそうした問題を、自分らなりの工夫したやり方をもって対処し、ロータリー運動を進めています。それらを公式地域雑誌に掲載すること

は、それらの地域に属するロータリアンを勇気づけることになり得ますし、又、ロータリー運動も高まっていくことになるでしょう。そうして、これらの地域雑誌にとりあげられたものが、やがては、普遍的な価値をもって、「THE ROTARIAN」などの媒体を通して、世界的に拡がっていく可能性が多いにあります。公式地域雑誌は、ロータリーの草の根運動を下から支えていくものであり、ロータリーにとっては非常に大切なものであります。最近、えてして、RIからのトップダウンによる一方的指示に義憤を感じる人が多いようではありますが、隠れたベストセラーといわれる「ロータリーの友」を本当の意味でのベストセラーにさせていただき、「ロータリーの友」の内容を更に充実化できるのは私達でありますので、これによってロータリーの草の根運動、ボトムアップ式運動を活性化してみようではありませんか。

### 地区大会への招請

様々な機会を捉えて、皆様に地区大会への参加の要請をしまりました。今回は、その最後の機会となりましょう。国際ロータリー第2650地区2007-08年度の地区大会は、来る4月12日（土）、13日（日）の両日に亘って、京都宝ヶ池の国立京都国際会館にて開催いたします。大会テーマは「ロータリーの心を求めて」としました。基調講演には、当地区の誇るRI元理事、ロータリー日本財団会長、国連親善大使の千玄室様を、記念講演には、衆議院議員の麻生太郎様をお迎えし、さらに今回の地区大会のRI会長代理には、次年度RI会長である李東建様をお迎えしての賑々しい大会が予想されています。これらの方々との懇親を求めて、日本から出ておられる渡辺好政RI理事（06-08）、小沢一彦RI理事（07-09）の他、多くのRI元理事、パストガバナーが参加されます。皆様に1人でも多くの御参加を願って、これらの方々との親善を深めていただきたいと思ひます。

### 朝田地区幹事長の訃



国際ロータリー第2650地区2007-08年度の地区幹事長朝田善三君が去る3月3日午後8時に逝去されました。享年54才でした。実は、彼は年度の始まる前から、重い病に罹患し、大手術をも乗り越えて、ガバナー事務所の要役としての責任を全うしてきてくれました。日々病魔に蝕まれて、痛みのため身体の自由もままならず、万やむをえず公式会議には欠席しがちでありましたが、それでも、そうした公式会議のお膳立ては彼が裏できちんと果たしてくれていました。「ロータリーのことはいいから。少しでも身体をやすめて欲しい」と何度も口酸っぱく言いましたが、それでも彼はいつもロータリーを考えてくれていました。そしてそのたびに彼は私に「ロータリーのことをちゃんとできなくてすみません。」と謝るのでした。勿論、私にとって、彼がいなかったならば、今日の私はありませんでした。彼がどんなにか、せめて地区幹事長の任期を全うしたかったかを思うとき、万感の思いを抱かずにはおられません。

朝田君、君の友情を私は生涯忘れずに生きていきます。君の思いはいつまでも私の心の中で生きています。朝田君の御冥福を祈ります。皆様も、どうか朝田君の御冥福を祈って下さい。

合掌